

Title	世界最大"二百吋"望遠鏡の製作工程
Author(s)	
Citation	天界 = The heavens (1940), 20(227): 138-138
Issue Date	1940-02-25
URL	http://hdl.handle.net/2433/167958
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

月 日	ω	星面の色彩	暗黒部の濃度	月 日	ω	星面の色彩	暗黒部の濃度
四 17	224°	帯赤橙色	稍々淡シ	七 29	264°	黄桃橙色	濃 シ
五 3	76	帯赤黄色	非常=淡シ	八 3	210	鮮桃黄色	普通
20	258	同上	淡 シ	4	208	帯赤黄色	稍濃シ
六 10	47	橙黄色	同上	8	169	帯黄桃色	淡 シ
15	341	赤味強シ	同上	13	121	桃黄色	非常=淡シ
17	342	帯赤橙色	普通	17	72	帯黄桃色	同上
七 1	173	赤味ノアル 橙色	稍濃シ	八 18	73	帯黄桃色	淡 シ
7	103	同上	稍淡シ	20	50	黄褐色	非常=淡シ
8	109	桃色ガカル	同上	24	0	帯赤褐色	淡 シ
9	88	帯赤橙黄色	同上	25	13	桃黄色	同上
14	38	帯赤黄色	淡 シ	26	347	帯橙黄色	同上
16	23	帯赤橙黄色	普通	30	330	帯赤橙色	サベウス、 シルチス濃 ク他ハ淡シ
20	244	帯強赤橙黄色	稍濃シ	31	335	帯桃橙色	濃 シ
25	293	帯橙桃黄色	濃 シ	九 7	249	帯微赤橙色	稍々濃シ
26	293	帯赤橙黄色	普通	8	230	橙 色	普通
28	268	帯赤黄色	稍濃シ				

(未完)

世界最大“二百吋”望遠鏡の製作工程

全世界の天文ファンが待望的である“二百吋”の大反射望遠鏡の製作工程について、米國カリフォルニア工學院の John A. Anderson 博士が發表する所によれば、昨年1939年七月末の現在では、

- 1) 研究所本部の3つの建築は最近完成した。
- 2) 口径“200インチ”の鏡面は殆んど完全に球面となつた。あと僅かな整形が残つてゐるばかり。
- 3) 補助用の双曲線鏡面數ケは一部整形終了。
- 4) クデ式の平面鏡(36"×53")は殆んど完成。
- 5) 望遠鏡運轉用の3ケの大型フレーム・ギヤの内、1ケは完成、他は製作中、之れは各個の製作に6ヶ月かかる。
- 6) パロマ1山上では、徑135呎のドームが略々完成。“二百吋”望遠鏡のマウンテングの重量部は、製作されただけは皆据え付けられたし、電氣裝置も可なり進歩した。口径“48吋”のシミット望遠鏡のドームも殆んど完成した。
- 7) “二百吋”望遠鏡の附屬品、即ち、分光寫眞儀や、乾板とり枠や其の他一切のものは、望遠鏡がほど2年後には完成して、使用されるやうになる見込みなので、其れまでには全部が出来上る豫定で、製作工事が進められてゐる。

こんなわけであるから、さすがに巨大な此の望遠鏡の工事であるため、いろいろ各方面で、やかましく待望されてゐる割に合ひに時日が長引いてゐるが、上記の様子から見ると、1941年の末までには全部が完成し、早ければ同年内に、或は遅くとも1942年には観測が開始されるだろうと、豫期される。